

施策4

環境の保全及び創出について重点的に取り組む地区を設定します

基本目標

2 自然と共生・共存を図り、豊かな自然とふれあえるまち

緑や水環境の保全・創出を図るとともに、貴重な動植物の保護・保全に努めるなど、豊かな自然とふれあえるまちを目指します。

1 現状と課題

(1) 現状

【設定の目的】

- 本市は、環境基本条例第9条に基づき、自然環境が特に豊かな地区を保全するため、及び都市の中で自然環境を創出するため、特定の地区に対して重点的に対策を行うこととしています。

環境基本計画では、これらに基づき「環境の保全及び創出について重点的に取り組む地区（以下「環境重点地区」という。）」を設定することとします。

【自然環境が特に豊かな地区】

- 本市の環境シンボルである長良川、金華山及び百々ヶ峰は、自然環境が特に豊かな地区であり、岐阜市総合計画「ぎふ躍動プラン・21」では、貴重な自然資源である森林や河川域（自然環境ゾーン）として位置づけられています。

また、「岐阜市都市計画マスタープラン^{※43}」においては、骨格的な緑となる森林として、「岐阜市景観基本計画^{※44}」においては、岐阜らしい景観を形成していくための特に重要な区域（景観計画重要区域）として位置づけられ、保全が図られています。

さらに、これらの地区の一部においては、岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づいて自然環境保全地区（達目洞ヒメコウホネ特別保全地区）や、都市計画法及び岐阜市風致地区条例に基づき風致地区^{※45}として区域及び種別を指定しており、貴重野生動植物の保護や風致に富んだ良好な都市景観の形成に努めています。



長良川、金華山、百々ヶ峰

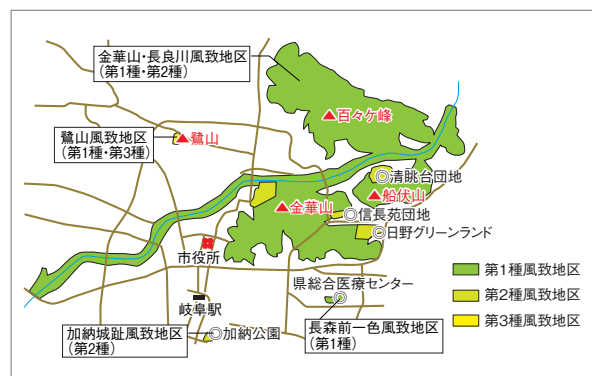


図4-1 風致地区区域

※43 岐阜市都市計画マスタープラン／まちづくりの方針として、土地利用をはじめ、道路、公園、下水道などの都市施設、まちなみ・風景といった都市を構成する様々な要素に関する目指すべき取組の方向性を示す計画。

※44 岐阜市景観基本計画／良好な都市景観の形成を総合的かつ計画的に進めるため、その形成に関する基本的な方向を明らかにした計画。

※45 風致地区／良好な自然景観を形成しており、都市環境の保全のため維持することが必要な地区。

【都市の中での自然環境を創出する地区】

本市の中心部である岐阜駅周辺や柳ヶ瀬などは、都市の中の自然環境を創出する地区としてにぎわいの創出やまちなか居住の推進を図るとともに、「岐阜市地球温暖化対策実行計画」に基づくまちなかの緑化や「岐阜市総合交通戦略^{※46}」に基づく公共交通ネットワークの形成など、環境に配慮したまちづくりを進めています。

また、これらの地区は、「岐阜市緑の基本計画^{※47}」において緑化重点地区に設定し、道路や公園などの公共空間のみならず民有地において、できる限り多くの緑を増やす取組を進めています。



じゅうろくプラザのグリーンカーテン

(2) 課題

【自然環境が特に豊かな地区】

- 先人より受け継がれた美しく豊かな自然環境を維持し、次世代へ引き継ぐため、長良川、金華山及び百ヶ峰を環境重点地区に設定し、関係機関と連携を図りながら保全に努めるとともに、本市の環境シンボルとして周知啓発していく必要があります。
- 貴重な野生動植物を保護するため、必要に応じ、岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づく自然環境保全地区（特別保全地区・共生地区）を指定する必要があります。
- 緑豊かな自然、伝統ある歴史・文化等を有する本市の美しい景観を保全するため、岐阜市まちを美しくする条例^{※48}に基づく環境美化推進重点区域に指定する必要があります。また、「岐阜市景観計画^{※49}」に基づき景観誘導を行う必要があります。

【都市の中での自然環境を創出する地区】

中心市街地の緑被率は約4%と低く、民有地の「緑」が少ないため、道路や公園緑地などの公共空間の緑のボリュームアップに加え、民有地緑化の推進が必要です。

特に、岐阜駅周辺などの中心部は、自然環境が少ないことから、自然の力を利用した環境都市の創出に向け、再生可能エネルギーの積極的な活用や省エネの推進により、環境に配慮したまちづくりを進め、市内外へ広く周知啓発していく必要があります。

表4-1 中心市街地の緑被現況

| 土地利用区分 | | 土地利用面積 | 緑被現況 | | 備考 |
|------------|------------------------------|--------|------|--------|---------|
| | | | 緑被面積 | 比率 | |
| 道路 | | 34.10 | 2.19 | 6.42% | 駅前広場含む |
| 公園緑地 | | 2.52 | 0.69 | 27.51% | 都市公園・社寺 |
| その他の公共公益施設 | | 3.70 | 0.38 | 10.39% | |
| 民有地 | 敷地1,000m ² 以上 | 9.22 | 0.15 | 1.59% | |
| | 敷地500～1,000m ² 未満 | 6.95 | 0.17 | 2.45% | |
| | 敷地500m ² 未満 | 44.68 | 0.48 | 1.07% | |
| 合計 | | 101.17 | 4.06 | 4.01% | |

注) 面積は、空中写真をもとに図上で計測
岐阜駅北口広場は、整備計画をもとに植栽予定地の面積を計上

資料：岐阜市緑の基本計画より

※46 岐阜市総合交通戦略／誰もが自由に移動できる交通環境社会を実現するための具体的な行動計画。

※47 岐阜市緑の基本計画／公園、民有地緑化など緑をテーマとした今後の岐阜市が目指すまちづくりの方向性を示す計画。

※48 岐阜市まちを美しくする条例／ごみの散乱や犬等のふん害の防止について必要な事項を定めることで、環境の美化の推進を図り、本市の美観を保全し、清潔で美しく快適な生活環境を確保することを目的とした条例。

※49 岐阜市景観計画／景観法に基づき、地域の景観形成に応じて区域や、良好な景観形成のための方針、建築物や工作物の建築行為等に対する基準（景観形成基準）等を定めた計画。

2 主な取組

(1) 環境重点地区の設定

- 環境基本条例の目的、関連計画による施策等を踏まえ、「自然環境保全・共生タイプ」と「自然環境創出タイプ」の2つのタイプの環境重点地区と、タイプごとの環境配慮対策を設定します。
- 環境配慮の取組状況や社会情勢の変化により、適宜、環境重点地区の見直しを行います。

表4-2 環境重点地区における環境配慮対策

| 環境重点地区 | | 環境配慮対策 |
|--------------|-----------------------------|--|
| 自然環境保全・共生タイプ | 豊かな自然環境を有しているため、そのまま保全する地区 | <ul style="list-style-type: none"> 自然環境を保全することを最優先します。 開発する場合は必要最小限とし、 <ul style="list-style-type: none"> 自然に配慮した工法や自然素材の導入に努めます。 現地の景観に合うように材質、形状や色彩に配慮します。 建物の場合は再生可能エネルギーの利用や省エネ機器の導入に努めます。 周囲からの眺望に配慮し外周の緑化に努めます。 |
| 自然環境創出タイプ | 自然環境が少ないことから、豊かな都市環境を創出する地区 | <ul style="list-style-type: none"> 建物の場合は再生可能エネルギーの利用や省エネ機器の導入に努めます。 壁面緑化など熱環境の改善に努めます。 |



図4-2 環境重点地区の区域

(2) 環境重点地区タイプ別の取組

【自然環境保全・共生タイプ】

- 環境配慮対策の取組に関し、市民・環境保全団体・事業者（以下「市民等」という。）がこれを遵守し、協力するよう意識の醸成に努めます。
- 長良川、金華山及び百ヶヶ峰は、風致地区の規制などにより自然環境の保全に努めるとともに、本市の環境シンボルとして市内外へ広く啓発し、自然豊かな「環境都市ぎふ」のイメージアップを図っていきます。
- 貴重野生動植物を保護するため、特に必要がある場合は、岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づく自然環境保全地区（特別保全地区・共生地区）を追加指定し、自然環境を保全します。
- 緑豊かな自然、歴史・文化等を有する本市の美しい景観を保全するため、適宜、岐阜市まちを美しくする条例に基づく環境美化推進重点区域に指定します。また、「岐阜市景観計画」に基づき景観誘導に取り組みます。
- 金華山区域の住宅等及び加納城跡では、自然に配慮した工法に努めるなど、自然環境と調和し、共生した生活環境づくりに努めます。
- 自然環境保全・共生タイプで設定した区域以外でも、自然環境が特に豊かな地区については、適宜、区域を設定し、自然環境の保全及び共生を図ります。

【自然環境創出タイプ】

- 環境配慮対策の取組に関して、市民等がこれを遵守し、協力するよう意識の醸成に努めます。
- 岐阜駅北・柳ヶ瀬周辺・中心市街地や加納区域では、街路樹などによる道路緑化や公園緑化などを推進するとともに、民有地では、助成事業や啓発事業を実施しながら「緑」の創出に努めます。
- 中心市街地では、再生可能エネルギーや省エネ機器を積極的に導入し整備を進め、環境に配慮したまちづくりの姿勢を市内外へ広く啓発し、低炭素化に向けた「省エネ都市ぎふ」のイメージアップを図っていきます。その一例として、つかさのまち夢プロジェクト（岐阜大学医学部等跡地）で整備する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」では、地下水や太陽熱などの自然エネルギーを最大限に活用し、消費エネルギー 1/2 の建築を実現します。

3 指標と目標値

| 指標名 | 現況値 (平成23年度) | 目標値 (平成29年度) | 指標の見方 |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|--|
| 環境重点地区の認知度 | — | 増加 | 岐阜市まるごと環境フェアで行うアンケート調査結果による認知度 ※平成25年度に実施するアンケート結果を現況値とし、毎年、増加を図る |
| 環境重点地区（自然環境創出タイプ）における「緑」の創出 | — | 50人 | 環境重点地区（自然環境創出タイプ）内における「緑のカーテン」の出前講座参加者数 ※毎年度50人を目標とする |